

表4 GISを活用したデータベース構築・バッファの作成に関する研究

筆者	年	GISの用途	GISソフト
Taylor, et al. ³⁴⁾	2012	医療施設配置の効率性をバッファによって明らかにするとともに、医療施設の統合によるアクセシビリティの改善効果を検討。	ArcGIS
Hoerster, et al. ³⁵⁾	2011	分析対象者と医療施設の位置情報を空間結合によって郡 (county) 単位へ集約し、かつ、その他の郡 (county) 単位のデータとの結合を実施。	ArcGIS
Bailony, et al. ⁴⁰⁾	2011	小児がんの空間的、時系列的パターンを明らかにするため、患者の住所地に基づきローカリティ (locality) 単位に集約。	SatScan
Barcellos, et al. ¹¹⁾	2009	プライマリヘルスケア単位でのエコロジカル研究 (ecological study) に有用なデータセットを構築。	—
Zlotnick, et al. ⁴¹⁾	2007	分析対象者の住所地と医療過疎地 (medically underserved areas) を突合。	MapInfo
Choi, et al. ⁶⁾	2006	大気排出源 (air emission site) やバス路線網からのバッファを作成。	ArcGIS
Plescia, et al. ⁴²⁾	2001	インタビュー調査データと調査対象者の居住地域データを突合。	ArcGIS

注) 明確な記述がない場合は「—」と記載

厚生労働科学研究費補助金
(地球規模保健課題推進研究事業)

ソーシャル・キャピタルを活用した保健医療福祉ネットワークの構築
－震災復興の効果的推進に向けて

平成25年度
総括・分担研究報告書

平成26年3月
研究代表者 濱野 強 (島根大学研究機構戦略的研究推進センター)

